

第 264 回「地域の会」定例会資料〔前回定例会以降の動き〕

【不適合関係】

- ・ 5 月 29 日 第二企業センター作業場におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）〔P. 3〕
- ・ 5 月 29 日 大湊屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）〔P. 4〕

【発電所に係る情報】

- ・ 5 月 20 日 柏崎刈羽原子力発電所の 2024 年度訓練実施結果報告書の原子力規制委員会への提出について〔P. 5〕
- ・ 5 月 21 日 柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可申請の補正書の提出について〔P. 6〕
- ・ 5 月 22 日 6 号機 主要な安全対策工事の進捗状況について〔P. 7〕
- ・ 5 月 22 日 南 66kV 開閉所建屋内での火災について（続報）〔P. 8〕
- ・ 5 月 22 日 （運転保守状況）1 号機 非常用ディーゼル発電機（A）潤滑油加熱器の不具合について〔P. 10〕
- ・ 5 月 29 日 柏崎刈羽原子力発電所 6 号機低圧蒸気タービン取替工事の「設計及び工事計画の届出」の提出について〔P. 11〕
- ・ 6 月 3 日 柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可について〔P. 12〕

【その他】

- ・ 5 月 16 日 燕市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について〔P. 13〕
- ・ 5 月 29 日 人事異動について〔P. 14〕
- ・ 6 月 2 日 聖籠町・十日町市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について〔P. 21〕
- ・ 6 月 4 日 柏崎刈羽発電所に関するコミュニケーション活動等の取り組み〔P. 22〕

【福島第一原子力発電所に関する主な情報】

- ・ 5 月 27 日 福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況〔別紙〕

<参考>

当社原子力発電所の公表基準（平成 15 年 11 月策定）における不適合事象の公表区分について

区分：Ⅰ 法律に基づく報告事象等の重要な事象

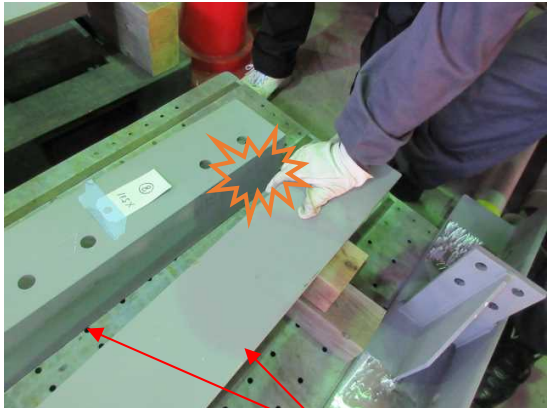
区分：Ⅱ 運転保守管理上重要な事象

区分：Ⅲ 運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象

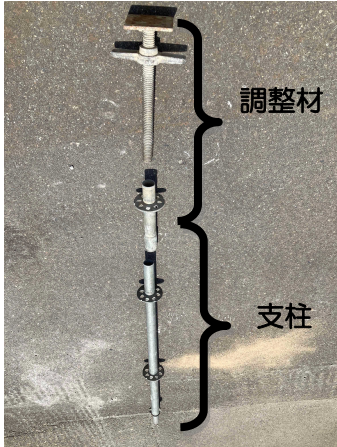
その他 上記以外の不適合事象

以 上

区分：Ⅲ

号機	—	
件名	第二企業センター作業場におけるけが人の発生について	
不適合の概要	2025 年 5 月 28 日午前 10 時 30 分頃、第二企業センター作業場において、協力企業作業員が、鋼材運搬作業中に右手中指を挟み、負傷しました。 このため、午前 11 時 00 分に業務車にて医療機関へ搬送しました。 指を挟んだ際の状況写真   鋼材	
安全上の重要度／損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 <u>その他</u>	<損傷の程度> ☐ 法令報告要 ☒ 法令報告不要 ☐ 調査・検討中
対応状況	病院で診察の結果、「右手中指挫滅創」と診断されました。 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。	

区分：Ⅲ

号機	—	
件名	大湊屋外エリアにおけるけが人の発生について	
不適合の概要	2025 年 5 月 28 日午後 9 時 00 分頃、大湊屋外エリアにおいて、コンクリート打設用の型枠の解体作業中に、型枠を固定するパイプ（支保工※）を下から上に受け渡していたところ、パイプ（支保工※）の一部（支柱）が外れ、下で受け渡しをしていた作業員の右耳裏側に当たり、負傷しました。 このため、午後 9 時 16 分頃に業務車にて医療機関へ搬送しました。 ※支保工：コンクリート打設の際に床や梁など型枠を所定の位置に支持するための仮設構造物 支保工の写真  支保工全体  調整材 支柱 外れた状態	
安全上の重要度／損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他	<損傷の程度> ☐ 法令報告要 ☒ 法令報告不要 ☐ 調査・検討中
対応状況	病院で診察の結果、「割創(右耳介)」と診断されました。 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。	

柏崎刈羽原子力発電所の 2024 年度訓練実施結果報告書の
原子力規制委員会への提出について

2025 年 5 月 20 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2000 年 6 月に施行された原子力災害対策特別措置法に基づき、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所の発電所ごとに作成した「原子力事業者防災業務計画※」に従い、防災訓練を実施しております。

原子力事業者は、2012 年 6 月に改正された原子力災害対策特別措置法の規定に基づき、防災訓練の実施結果について、原子力規制委員会に報告するとともに、その要旨を公表することとなっております。

本日、柏崎刈羽原子力発電所の 2024 年度「防災訓練実施結果報告書」を同委員会に提出しましたので、お知らせいたします。

以 上

※原子力事業者防災業務計画

原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害の発生および拡大の防止ならびに原子力災害時の復旧に必要な業務等について定めたもの。

添付資料

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所「防災訓練実施結果報告書」

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111（代表）

柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可申請の補正書の提出について

2025 年 5 月 21 日

東京電力ホールディングス株式会社

本日、柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可申請の補正書を、原子力規制委員会に提出しました。

同発電所では、3 月に「脱炭素社会の実現に向けた電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」(GX 電源法) による「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」(原子炉等規制法) 等の改正 (2025 年 6 月施行) を踏まえ、保安規定変更認可申請を提出しております。

[\(2025 年 3 月 25 日お知らせ済み\)](#)

今回の補正は、同委員会の審査会合による指摘事項等を踏まえて条文の一部を変更[※]したものです。

当社は、引き続き同委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

※主な変更内容

原子炉の運転期間 (運転サイクル) を変更する場合は、長期施設管理計画の劣化評価への影響の評価を行うことを明確化

以 上

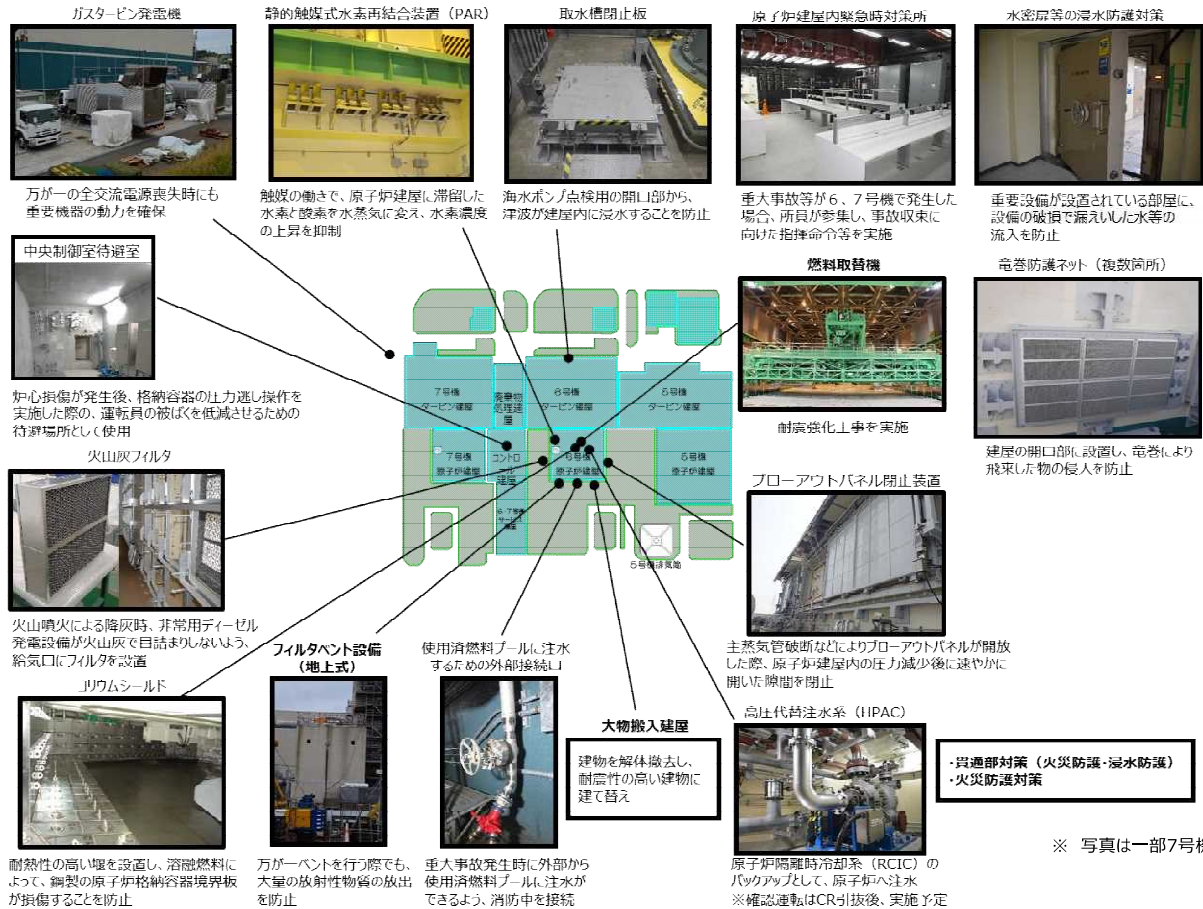
【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111 (代表)

6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について

資料1

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- 新規制基準を踏まえた安全対策工事の施工や、燃料装荷前までに行う使用前事業者検査は一通り実施。
- 現在、原子力規制庁の使用前確認を受けており、試験使用の承認後に、燃料装荷を実施予定（6月10日予定）。
- なお、安全対策工事については、全ての使用前事業者検査を実施し、原子力規制庁の使用前確認をもって完了となるため、それまでの間に気づき等があれば、適宜是正していく。



※ 写真は一部7号機設備のものを使用

1. 南66kV開閉所建屋内での火災について（続報）

資料2

2025年5月22日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- 火災が発生した制御用補助変圧器について、当社研究所で調査の結果、以下を確認。
 - ① 変圧器の巻線※（銅製）に溶損や断線があり、巻線の塗料に炭化を確認
 - ② 変圧器の巻線を詳細に確認した結果、錆等の腐食による劣化はなし
 - ③ 当該変圧器を含む電源装置内部に、異物等の付着やネジのゆるみ等はなし
- ②、③をもって、変圧器自体の劣化や異常等が起因の火災ではないと判断。
- 「上記の調査結果」および「制御ケーブルで確認した絶縁低下」より、制御ケーブルで地絡が発生し、接地線を介して設計値を上回る電流が変圧器に流れ込み、巻線が高温となり発火したものと推定。

※ 電流を流して磁場を作るため、導線をコイル状に巻いたもの

	調査結果	調査状況	考察
①	✓ 変圧器の巻線の損傷が激しく、巻線の溶損・断線あり ✓ 塗料等の分析結果より、変圧器は380℃以上の高温になったと推定		巻線が原因で変圧器が過熱、発火したと推定
②	✓ 変圧器の巻線に腐食等の劣化なし ✓ 巻線の太さはカタログ値と同程度で、摩耗等による線の細りなし		経年劣化の兆候なし
③	✓ 電源装置内部に異物等の付着、汚損なし ✓ ネジのゆるみ等はなし		設備に異常なし 施工による異常なし

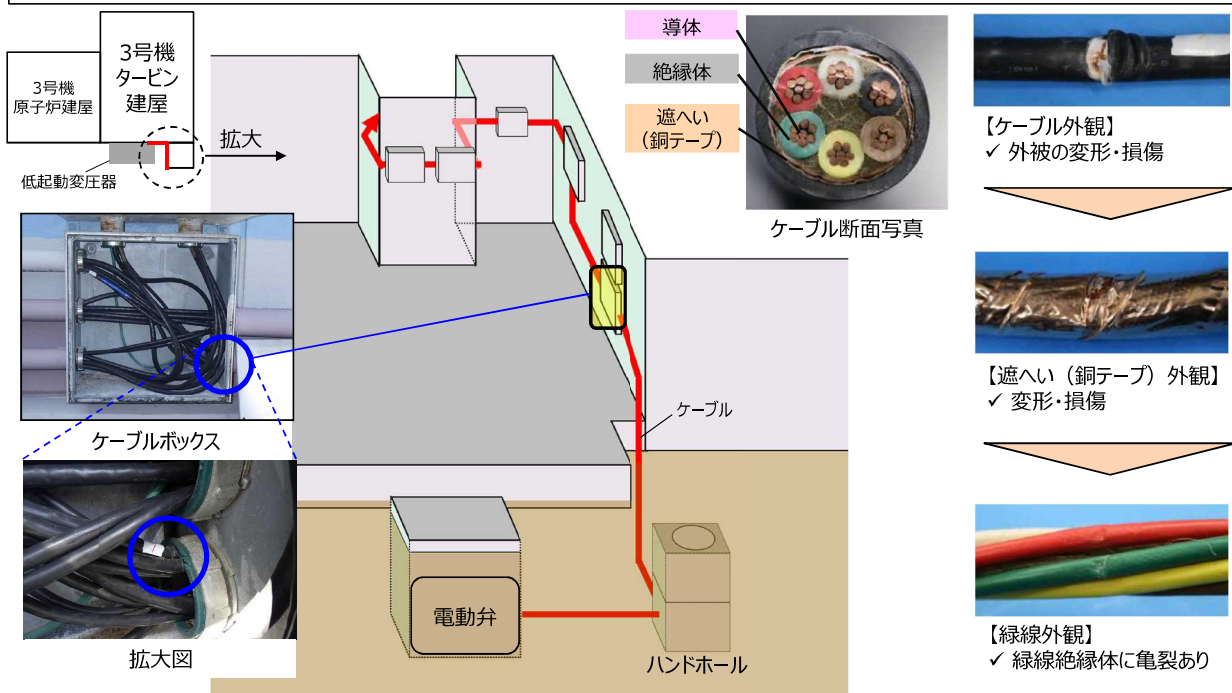
【地絡電流による火災発生メカニズム】



1

2. ケーブルの損傷箇所について

- 電動弁に繋がる制御ケーブルを調査した結果、3号機タービン建屋 屋外の壁面に設置しているケーブルボックスの中で、ケーブルの一部に余長がなく※、ボックス内の角に食い込んでいることを確認。
 - ※ 通常ケーブルは、余長を持たせて敷設
- 当社研究所でケーブルを詳細調査したところ、ケーブルの1箇所に傷があり、そこから地絡が発生したと推定。



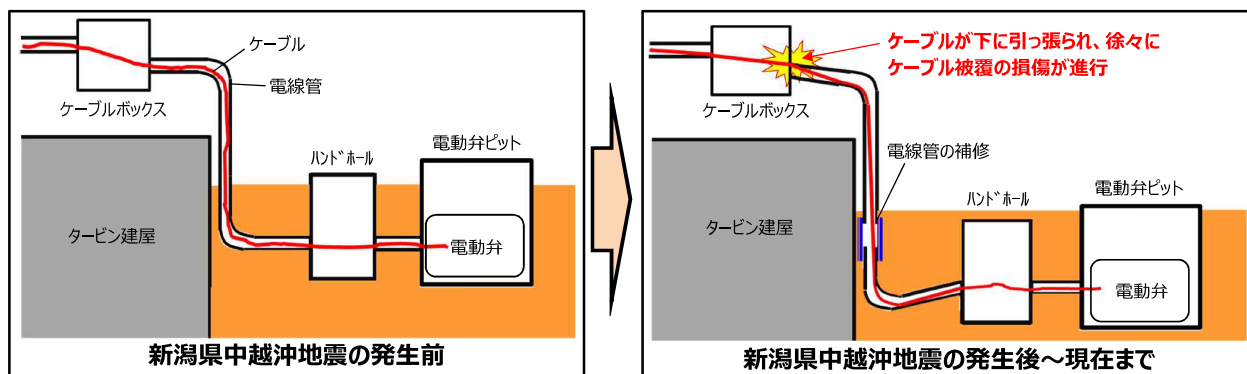
2

3. ケーブルが損傷した推定原因と水平展開調査

- ケーブルが敷設されている3号機タービン建屋周辺は、新潟県中越沖地震の際に地表面が沈下したエリア。
- 地震によって、地下に埋まっていた電線管が損傷を受け、また電線管内のケーブルも下に引っ張られる形となり、余長がなくなったものと推定。
- 当時、電線管の補修は実施していたが、ケーブルの引っ張りも含めた是正が十分でなかったため、ケーブル被覆がボックス内の角に押し付けられた状態が長年続いたことにより、徐々に損傷が進行したものと推定。
- 同様な事象を起因とした火災の発生を防ぐため、発電所全体で、地上から地面へケーブルがつながっている建屋壁面の屋外ケーブルボックス（約550箇所※）を抽出し、ボックス内のケーブル状況を確認。
- 高所等を除いたすべてのボックス内の調査が終了し、現状、1号機周辺で2箇所の余長不足を確認。1箇所は現在使用していないケーブル（端部を切断済）で、もう1箇所は引っ張りによる影響等を、現在確認中。

※調査進展により数量は変動する

＜【推定】ケーブルが損傷に至った状況（イメージ）＞

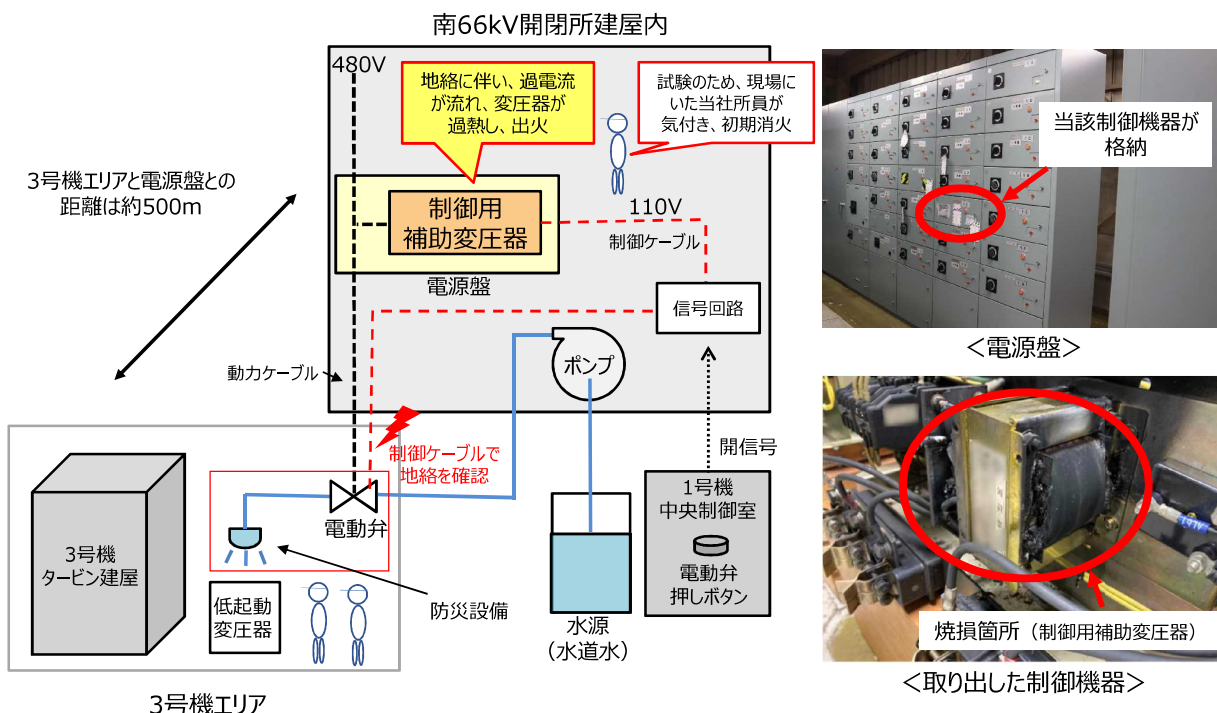


3

＜参考＞ 2025年4月10日公表資料

南66kV開閉所建屋内での火災について（イメージ）

- 低起動変圧器の防災設備の定例試験を実施中に制御用補助変圧器からの火災が発生。
- 調査の結果、制御ケーブルで地絡が発生し、当該変圧器に過電流が流れ、過熱・出火したものと推定。



4

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年5月12日		
号機	1	件名	非常用ディーゼル発電機（A）潤滑油加熱器の不具合について

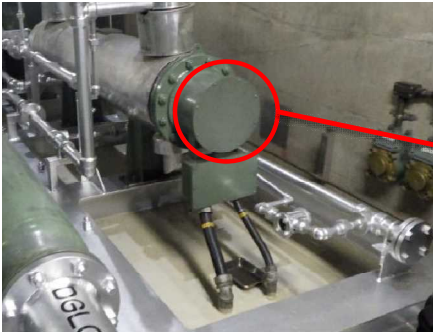
【事象の発生】

- 2025年5月10日、午後1時33分頃、1号機で地絡を示す警報が発生しました。調査の結果、原子炉建屋地下1階（非管理区域）にある非常用ディーゼル発電機（A）の潤滑油加熱器※において、絶縁抵抗の不良を確認したことから、当該潤滑油加熱器を停止しました。なお、今回の事象による外部への放射能の影響はありません。
 - ※ 非常用ディーゼル発電機の潤滑油の温度を一定の範囲内に保つため、潤滑油の温度が下がった際に温めるための設備。潤滑油タンクからディーゼル発電機へ潤滑油が送られる途中に設置しているもの。
- (2025年5月12日にお知らせ済み)

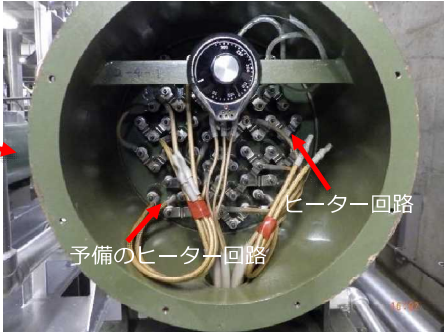
①

【対応状況】

- 調査の結果、加熱器端子箱内のヒーター回路が導通しないことを確認。
- 導通しない場合は、同端子箱内にある予備のヒーター回路に切替える運用としているため、切替えを実施し、正常に動作することを確認。



加熱器全体図



加熱器端子箱内拡大写真

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機 低圧蒸気タービン取替工事の
「設計及び工事計画の届出」の提出について

2025 年 5 月 29 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社柏崎刈羽原子力発電所 6 号機においては、2008 年に確認した低圧蒸気タービンの動翼損傷事象※を踏まえ、低圧蒸気タービンの更なる信頼性向上に向けた対策を進めております。
([2008 年 9 月 19 日お知らせ済](#))

今回、6 号機の低圧蒸気タービンの設計改良が完了したことから、低圧蒸気タービンの取替工事に係る設計及び工事計画の届出を、昨日、原子力規制委員会に提出しました。

当社は引き続き、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

※2008 年 3 月の点検にて一部動翼の付根部に損傷を確認。当時の対策として、新品への交換や傷の除去、運用面の見直し等を実施し、現時点までに異常は確認されていない。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111（代表）

柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可について

2025 年 6 月 3 日

東京電力ホールディングス株式会社

本日、当社は原子力規制委員会より、柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可申請について認可をいただきました。

同発電所では、3 月 25 日に「脱炭素社会の実現に向けた電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」(GX 電源法)による「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」(原子炉等規制法)等の改正(2025 年 6 月施行)を踏まえ、保安規定変更認可申請を行い、5 月 21 日に補正書を同委員会に提出しております。

[\(2025 年 5 月 21 日お知らせ済み\)](#)

当社は、引き続き、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111 (代表)

(お知らせ)

燕市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について

2025 年 5 月 16 日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所において、福島第一原子力発電所の事故の反省と教訓を踏まえ、様々な安全対策を講じております。また、事故への対応力強化のために各種訓練を繰り返し実施するなど、ハード・ソフトの両面から発電所の安全性向上に取り組んでおります。

このたび、地域の皆さまと直接お会いしてご意見を拝聴するとともに、発電所の目指す姿を含め、これまでの発電所における安全性向上の取り組み状況について一人でも多くの方々に説明し、皆さまのご不安や疑問にお答えすることを目的として、以下の通り「東京電力コミュニケーションブース」を開催いたします。

頂戴した貴重なご意見については、今後の発電所運営に活かしてまいります。

<燕市>

- ・期間：2025 年 6 月 7 日（土）・6 月 8 日（日）
- ・時間：10 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：道の駅 SORAIRO 国上／正面駐車場（燕市国上 5866-1）

今後も、新潟県内においてコミュニケーションブースの開催を予定しておりますので、詳細が決定次第、お知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

2025年5月29日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
	<部長級>		
2025. 7. 1	原子力安全監視室	柏崎刈羽原子力発電所 (土木・建築担当)	そらおか ひろし 曾良岡 宏
2025. 7. 1	渉外・広報ユニット広報室（報道担当） 兼 広報室（コミュニケーション担当） 兼 広報室（カイゼン担当）	柏崎刈羽原子力発電所 広報部長	よこい きよひと 横井 清人
2025. 7. 1	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター所長 兼 設備計画グループマネージャー 兼 廃止措置室 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 計測制御グループマネージャー 兼 第一保全部 計測制御（1・4号）グループ 兼 第一保全部 計測制御（2・3号）グループ	なかむら たかし 中村 貴志
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部長	渉外・広報ユニット広報室 経営報道グループマネージャー	すぎやま あつし 杉山 篤志
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部長	原子力設備管理部 設備技術グループマネージャー 兼 設計エンジニアリンググループ 兼 廃止措置室 兼 青森事業本部東通原子力建設所	たけもと ひさし 竹本 尚史
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部長	原子力運営管理部 運転管理グループマネージャー 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 原子力運営管理部 リスクコミュニケーター	いよく まさお 伊能 政雄
	<課長級>		
2025. 7. 1	福島本部 復興推進室（福島県双葉郡大熊町駐在） 兼 放射線管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線管理グループマネージャー 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター	うえだ しゅんのすけ 上田 俊之介
2025. 7. 1	調達部調達戦略グループ 兼 調達統括グループ 兼 調達基盤グループ	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 資材グループマネージャー	むらやま まさのぶ 村山 雅信
2025. 7. 1	渉外・広報ユニット立地地域室 電気事業連合会派遣	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー	とりがい やすき 鳥飼 泰樹

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	原子力設備管理部 設備技術グループマネージャー 兼 設計エンジニアリンググループ 兼 廃止措置室 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部（保安担当） 兼 第一保全部（保安担当）	やぎい とちひろ 楊井 知啓
2025. 7. 1	原子力設備管理部 設備健全性診断グループマネージャー （新潟県柏崎市U Kビル駐在）	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電気機器グループマネージャー 兼 第一保全部 電気機器（1・4号）グループ 兼 第一保全部 電気機器（2・3号）グループ	みなよし のりふみ 皆吉 徳文
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 サイバーセキュリティセンター セキュリティ技術 グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティ グループマネージャー	いわもと てるき 岩本 輝揮
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 用地部F M推進センター 神奈川・静岡地域 施設管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 建築（第一）グループマネージャー	さとう りょうじ 佐藤 亮治
2025. 7. 1	東京電力リニューアブルパワー株式会社 那須野事業所長 兼 那須野事業所（カイゼン担当）	柏崎刈羽原子力発電所 所長付 兼 原子力改革ユニット 原子力改革特別タスクフォース事務局	さいとう みのる 齊藤 稔
2025. 7. 1	原子力人財育成センター （人財開発プロジェクト担当） （柏崎刈羽原子力発電所駐在）	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ施設運用グループ 施設防護チームリーダー 兼 核セキュリティ運営管理グループ	ながえ ゆうや 長江 祐也
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 （土木・建築担当） 兼 第一保全部 土木（第一）グループマネージャー 兼 第一保全部 土木（第二）グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 土木（第一）グループマネージャー 兼 土木（第二）グループ	あらかわ たけひさ 荒川 武久
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 所長付 兼 原子力改革ユニット 原子力改革特別タスクフォース事務局	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループ企画総括チームリーダー	ひぐち だいすけ 樋口 大輔
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 カイゼン室長 兼 原子力改革担当付	青森事業本部 青森事務所副所長 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 青森事業本部 リスクコミュニケーター	こすだ まさゆき 小須田 昌之
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 柏崎刈羽原子力企業協議会派遣	東京電力パワーグリッド株式会社 信濃川電力所 企画総括グループ 兼 ビジネスソリューション・カンパニー オフィスサービスセンター 健康推進グループ	いまい みよこ 今井 みよ子

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 総務グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 柏崎刈羽原子力企業協議会派遣	さかい としあき 坂井 敏明
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 会計グループ	福島本部復興調整部 公益社団法人福島相双復興推進機構出向	もり ひろあき 森 宏明
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 資材グループマネージャー	調達部調達プロジェクト 第四グループ第一チームリーダー	くりた ひろあき 栗田 浩明
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 サービスホールグループマネージャー	かもした げん 鴨志田 玄
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 サービスホールグループマネージャー	渉外・広報ユニット立地地域室 立地企画グループ企画チームリーダー	いがらし ゆう 五十嵐 裕
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 (セキュリティ施設管理担当)	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 設備チームリーダー 兼 サイバーセキュリティグループ	あべ みつる 阿部 満
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 運転評価グループマネージャー 兼 第一運転管理部 運転評価グループ 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ施設運用グループ	まつざか けんじ 松坂 健二
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティ グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティグループ セキュリティ企画チームリーダー	いとう しげる 伊藤 繁
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 安全総括部 技術計画グループ	原子力設備管理部 原子炉安全技術グループ 安全評価チームリーダー 兼 設備計画グループ	ばんどう けんいち 板東 謙一
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線管理グループマネージャー 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ	原子力運営管理部 放射線管理グループ 水質・廃棄物管理チームリーダー (新潟県柏崎市U Kビル駐在) 兼 核セキュリティ管理グループ	えんどう ゆうすけ 遠藤 裕介
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 (保全担当) 兼 第二保全部 (保全担当)	原子力設備管理部 設備健全性診断グループマネージャー (新潟県柏崎市U Kビル駐在)	あなだ さとる 穴田 寛

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部	青森事業本部 東通原子力建設所 建築グループマネージャー 兼 東通建設プロジェクト統括室	いしだ ともあき 石田 智昭
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 タービン (1・4号) グループマネージャー 兼 タービン (2・3号) グループマネージャー 兼 第二保全部 タービングループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 タービングループマネージャー 兼 環境施設プロジェクト グループマネージャー 兼 原子炉グループ 兼 環境施設グループ 兼 第一保全部 タービン (1・4号) グループ 兼 第一保全部 タービン (2・3号) グループ	もんま けんすけ 門間 健介
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 高経年化評価グループマネージャー 兼 原子炉 (1・4号) グループマネージャー 兼 原子炉 (2・3号) グループ 兼 第二保全部 原子炉グループ	原子力設備管理部 設備技術グループ 高経年化チームリーダー 兼 設計エンジニアリンググループ	たかお としまさ 高尾 俊匡
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 電気機器 (2・3号) グループマネージャー 兼 電気機器 (1・4号) グループ 兼 第二保全部 電気機器グループ	原子力運営管理部 保守管理グループ 電気・計装チームリーダー (新潟県柏崎市U Kビル駐在) 兼 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 福島第一保障措置P J グループ	さかもと りょうせい 坂元 良成
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 建築 (第一) グループマネージャー	原子力設備管理部 建築技術グループ 兼 安全施設建設センター	あみ まさと 阿見 正人
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 運転評価グループマネージャー 兼 第一運転管理部 運転評価グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ施設運用グループ	原子力設備管理部 設備計画グループ 設備チームリーダー	どうぞの たけし 堂園 武志
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 タービングループマネージャー 兼 環境施設プロジェクト グループマネージャー 兼 環境施設グループ 兼 第一保全部 タービン (1・4号) グループ 兼 第一保全部 タービン (2・3号) グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 タービングループ 兼 原子炉グループ 兼 環境施設グループ	こんどう ゆういち 近藤 裕一

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電気機器グループマネージャー 兼 安全施設工事プロジェクト (機電) グループ 兼 第一保全部 電気機器 (1・4号) グループ 兼 第一保全部 電気機器 (2・3号) グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 原子力設備管理部 安全施設建設センター 電気・計装グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電気機器グループ 火災防護電気チームリーダー 兼 第一保全部 電気機器 (1・4号) グループ 兼 第一保全部 電気機器 (2・3号) グループ	いりさわ たけひろ 入沢 竹弘
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 計測制御グループマネージャー 兼 安全施設工事プロジェクト (機電) グループ 兼 第一保全部 計測制御 (1・4号) グループ 兼 第一保全部 計測制御 (2・3号) グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティグループ 兼 原子力設備管理部 安全施設建設センター 電気・計装グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 計測制御 (2・3号) グループ タービンチームリーダー 兼 計測制御 (1・4号) グループ 兼 第二保全部 計測制御グループ	おおば あつし 大庭 篤士
2025. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 システムエンジニアリング グループマネージャー 兼 第一保全部 システムエンジニアリンググループ	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター 機器耐震技術グループ 耐震安全 (電気) チームリーダー 兼 安全施設建設センター 電気・計装グループ	ひさとみ しんいち 久富 伸一

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
 東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131 (代表)

2025年5月29日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 福島本部環境再生室資源循環推進グループ	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 自然コミュニケーショングループマネージャー	さとう ひろみち 佐藤 宏通
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長	東京電力パワーグリッド株式会社 監査役業務室	うちだ かおり 内田 香織
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部（防災安全担当）	東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部 KK 6 安全対策共同事業株式会社出向	おがわ ひでかず 小川 秀和
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部リスクコミュニケーション 兼 渉外・広報ユニット広報室	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 兼 新潟本部リスクコミュニケーション	しばの たけし 柴野 剛
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部長 兼 新潟本部（カイゼン担当）	東京電力エネルギーパートナー株式会社 経営企画室副室長 兼 経営企画室（リスク担当）	たけだ しゅんじろう 武田 俊二郎
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部 業務総括グループマネージャー	すずき けんじ 鈴木 賢児
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部	東京電力パワーグリッド株式会社 相模原支社（平塚地域渉外担当）	まつえだ まこと 松枝 誠
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部 業務総括グループマネージャー	東京電力エネルギーパートナー株式会社 業務統括室総務グループ現業チームリーダー 兼 福島復興推進室	あまの まさひろ 天野 正浩
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部長	東京電力パワーグリッド株式会社 電子通信部東京通信ネットワークセンター所長 兼 東京通信ネットワークセンター （リスク担当） 兼 東京通信ネットワークセンター （行為規制管理担当）	いわた とむひさ 石渡 知久
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 自然コミュニケーショングループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 福島本部環境再生室 中間貯蔵・土壌再生総括グループ （チームリーダー待遇） （東京都千代田区内幸町駐在）	かわむら こうじ 川村 光司

日 付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 広報グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 パワーグリッドサービス部 ネットワークサービスセンター 高圧受付グループマネージャー	かわまつ たかし 川松 尚志
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 報道グループマネージャー	東京電力リニューアブルパワー株式会社 業務統括室広報グループマネージャー 兼 東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室	さかきばら こうじ 榎原 康司
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 (新潟担当)	さやま まさのり 佐山 昌徳
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 (新潟担当)	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 (上越担当)	もとじゅく はじめ 元宿 始
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 (上越担当)	東京電力ホールディングス株式会社 福島本部福島原子力補償相談室 補償相談ユニット補償推進センター 産業補償第五グループマネージャー	はらだ まさひろ 原田 尚央
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 下越地域グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 稼ぐ力創造ユニット組織・労務人事室 労務人事総括グループ	あまの まさこ 天野 真子
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 中越地域グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 千葉総支社業務総括グループ 渉外第一チームリーダー	あいかわ まさたか 相川 正孝
2025. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 経営報道グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 報道グループマネージャー	みうら たかひろ 三浦 貴博
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 秘書・リスクマネジメント室 (広報担当) 兼 東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部 広報グループマネージャー	つのだ なおき 角田 直紀
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 用地部 (安全担当) 兼 用地部 (品質担当) 兼 用地部 (HVDC担当) 兼 用地企画グループ	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部企画総務部長 兼 新潟本部 (カイゼン担当)	たかはし ひろし 高橋 弘
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 栃木総支社業務総括グループ (労務担当) 兼 人財開発室	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 中越地域グループマネージャー	のがみ たかし 野上 貴史
2025. 7. 1	東京電力パワーグリッド株式会社 千葉総支社 (東葛地域渉外担当)	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 下越地域グループマネージャー	よしかわ なみ 吉川 奈美

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461 (代表)

(お知らせ)

聖籠町・十日町市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について

2025 年 6 月 2 日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所において、福島第一原子力発電所の事故の反省と教訓を踏まえて様々な安全対策を講じるとともに、事故への対応力強化のために各種訓練を繰り返し実施するなど、ハード・ソフトの両面から発電所の安全性向上に取り組んでおります。

このたび、地域の皆さまと直接お会いしてご意見を拝聴するとともに、発電所における安全性向上の取り組み状況について一人でも多くの方々に説明し、皆さまのご不安や疑問にお答えすることを目的として、以下の通り聖籠町・十日町市において「東京電力コミュニケーションブース」を開催いたします。

また、十日町市にて開催する「東京電力コミュニケーションブース」では、発電所の安全性向上の取り組み状況を、直接構内でご見学いただけるバスツアーも同時に開催いたします。

< 聖籠町 >

- ・日時：2025 年 6 月 14 日（土）・6 月 15 日（日）
- ・時間：10 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：PLANT-4 聖籠店/ベーカリー横 催事スペース（北蒲原郡聖籠町大字蓮野字西山 708）

< 十日町市 >

- ・日時：2025 年 6 月 14 日（土）・6 月 15 日（日）
- ・時間：10 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：千手中央コミュニティセンター/1 階 会議室（十日町市水口沢 76 番地 7）

※見学バスツアーの概要

- ・参加受付：10 時 00 分～12 時 00 分（定員：両日先着 25 名、参加費：無料）
【参加者全員が運転免許証、マイナンバーカードのいずれかをお持ちください】
- ・スケジュール：12 時 45 分 乗車場所（十日町市川西支所駐車場）出発
13 時 50 分 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール到着・発電所構内ご見学
15 時 10 分 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール出発
16 時 30 分 降車場所（十日町市川西支所駐車場）到着

詳細については、当社ホームページに掲載いたします「東京電力コミュニケーションブース」ご案内チラシをご覧ください。

今後も、新潟県内においてコミュニケーションブースの開催を予定しておりますので、詳細が決定次第、お知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

柏崎刈羽原子力発電所に関する コミュニケーション活動等の取り組み

2025年6月4日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

ニュースアトムやコミュニケーションブースでいただいたご意見より改善しました

①正門の渋滞発生

- ・朝の交通渋滞の緩和を検討してほしいです。（柏崎市 60代 男性）
- ・朝の通勤渋滞を解消してほしい。（柏崎市 50代 女性）
- ・渋滞をなんとかしてほしい。（柏崎市 40代 男性）

対応状況

昨年末より、特に混雑する時間帯の入構制限や、乗り合わせを呼びかけ、入構する車両数を削減する等の取り組みを展開した。その結果、現行の工事量に対しては、大きな渋滞の発生を抑制。

<渋滞緩和に関する地域の声>

- ✓ 正門前の渋滞が少なくなり大変嬉しいです。
- ✓ 去年の渋滞があったことは把握している。日々、改善されていますね。

②現場の入退域 ゲートの混雑緩和

30年構内で働いています。セキュリティに関しては力を入れていると感じている。このまま続けてほしい一方で、現場の入退域ゲートを通過するのに時間がかかり過ぎる。混雑緩和を検討してほしい。（50代 男性）

対応状況

今年1月27日から現場への入域をチェックする装置を増設し運用を開始。大きな混雑の発生を緩和。



2月5日早朝 正門前進入路



4月10日早朝 正門前進入路

今後も皆さまのご意見を発電所運営に活かしてまいります。

「廃炉」の主な作業項目と作業ステップ

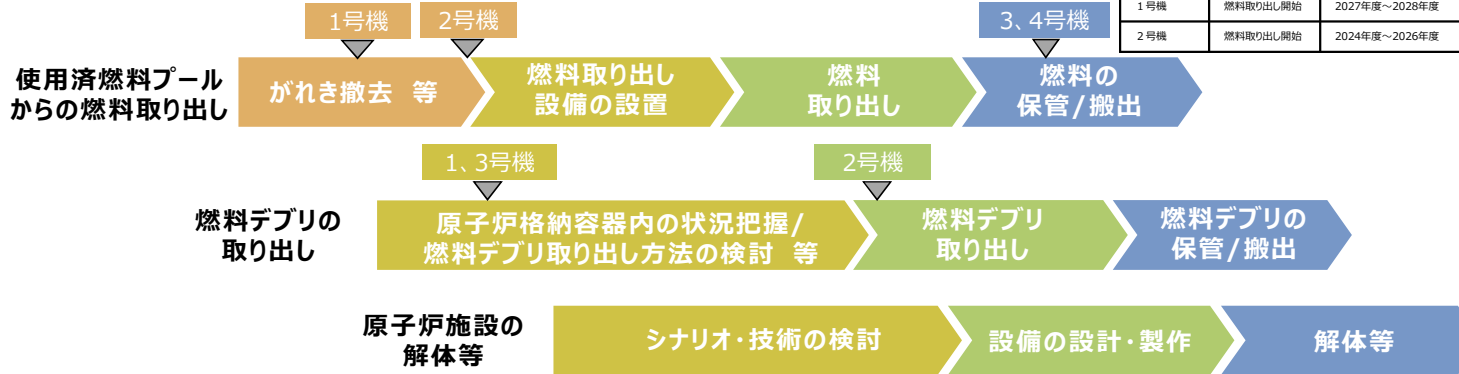
使用済燃料プールからの燃料取り出しは、2014年12月22日に4号機が完了し、2021年2月28日に3号機が完了しました。2号機燃料デブリの試験的取り出しは、2024年9月10日より着手し、中長期ロードマップにおけるマイルストーンのうち「初号機の燃料デブリ取り出しの開始」を達成しました。

引き続き、1、2号機の燃料取り出し、1、3号機燃料デブリ(注1)取り出しの開始に向け順次作業を進めています。

(注1)事故により溶け落ちた燃料

<中長期ロードマップにおけるマイルストーン>

1～6号機	燃料取り出し完了	2031年内
1号機	燃料取り出し開始	2027年度～2028年度
2号機	燃料取り出し開始	2024年度～2026年度

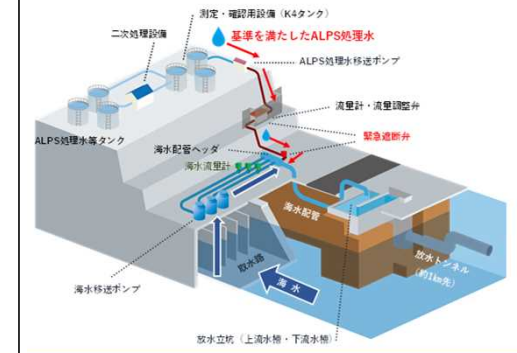


処理水対策

多核種除去設備等処理水の処分について

ALPS処理水の海洋放出に当たっては、安全に関する基準等を遵守し、人および周辺環境、農林水産品の安全を確保してまいります。また、風評影響を最大限抑制するべく、強化したモニタリングの実施、第三者による客観性・透明性の確保、IAEAによる安全性確認などに継続的に取り組むとともに、正確な情報を透明性高く、発信していきます。

ALPS処理水の海洋放出の流れ



汚染水対策 ～3つの取組～

(1) 3つの基本方針に従った汚染水対策の推進に関する取組

①汚染源を「取り除く」 ②汚染源に水を「近づけない」 ③汚染水を「漏らさない」

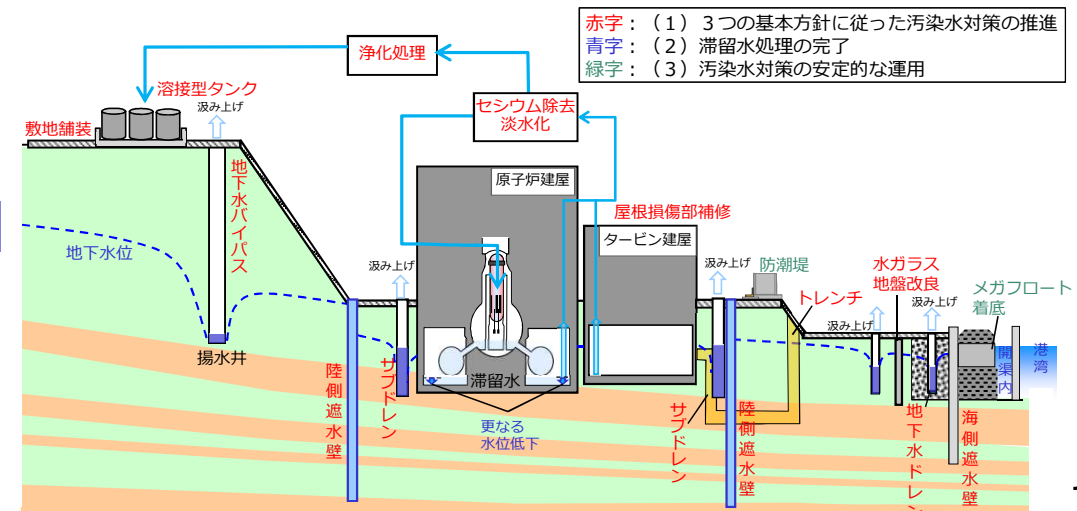
- 多核種除去設備以外で処理したストロンチウム処理水は、多核種除去設備での処理を行い、溶接型タンクで保管しています。
- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な汚染水対策により、建屋周辺の地下水位を低位で安定的に管理しています。また、建屋屋根の損傷部の補修や構内のフェーシング等により、汚染水発生量は抑制傾向で、対策前の約540m³/日（2014年5月）から約70m³/日（2024年度）まで低減し、2023年度に達成した「平均的な降雨に対して、2025年以内に100m³/日以下に抑制」を2024年度においても維持していることを確認しました。
- 汚染水発生量の更なる低減に向けて対策を進め、2028年度までに約50～70m³/日に抑制することを目指します。

(2) 滞留水処理の完了に向けた取組

- 建屋滞留水水位を計画的に低下させるため、滞留水移送装置を追設する工事を進めております。
- 2020年に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理が完了しました。
- ダストの影響確認を行いながら、滞留水の水位低下を図り、2023年3月に各建屋における目標水位に到達し、1～3号機原子炉建屋について、「2022～2024年度に、原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減」を達成しました。
- プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の地下階に、震災直後の汚染水対策の一環として設置したゼオライト土嚢等について、線量低減策および安定化に向けた検討を進めています。

(3) 汚染水対策の安定的な運用に向けた取組

- 津波対策として、建屋開口部の閉止対策を実施し、防潮堤設置工事が完了しました。また、豪雨対策として、土嚢設置による直接的な建屋への流入を抑制するとともに、排水路強化等を計画的に実施していきます。



取組の状況

- ◆ 1～3号機の原子炉・格納容器の温度は、この1か月安定的に推移しています。
また、原子炉建屋からの放射性物質の放出量等については有意な変動がなく、総合的に冷温停止状態を維持していると判断しています。

ALPS処理水海洋放出の状況について

ALPS処理水海洋放出設備について、昨年8月の測定・確認用設備C群の点検開始以降、順次点検を進め、昨年11月に開始した測定・確認用タンクB群の点検が完了したことから、計画していた点検は予定通り全て完了しました。いずれの点検結果においても、放出工程に影響を与える異常は確認されませんでした。

なお、測定・確認用タンクB群の内面に塗装の膨れや腐食を確認しましたが、タンクの機能への影響はないと評価しており、補修塗装等を実施しました。

また、2025年6～7月に予定している2025年度第2回ALPS処理水海洋放出に向け、5月9日から、タンク群の水質の均質化のための循環・攪拌運転を開始し、5月16日に測定・確認用タンクC群から試料採取を実施しました。今後、採取した試料の分析を行い、ALPS処理水の希釈放出前に放出基準を満足していることを確認します。

燃料デブリサンプル（2回目採取）の非破壊分析結果（速報）について

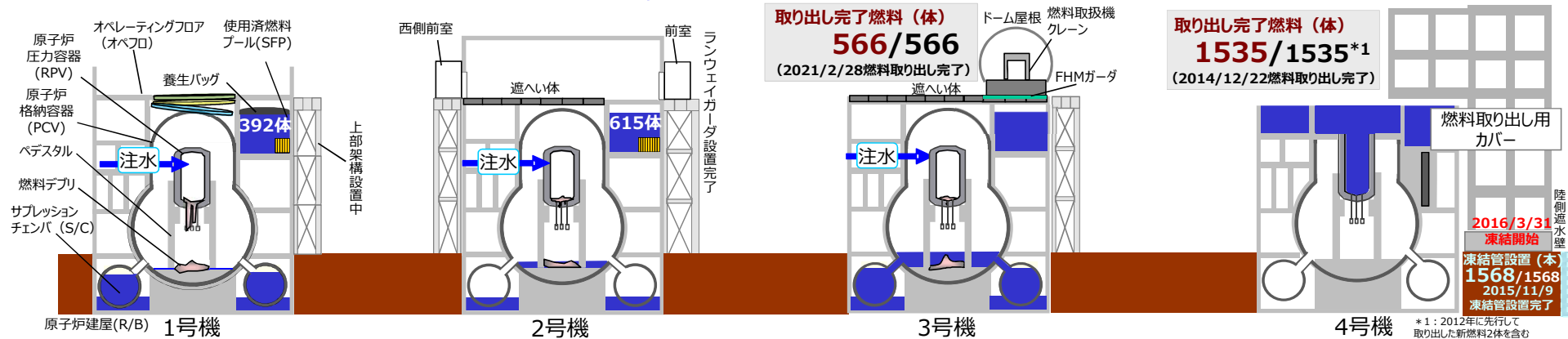
2回目の燃料デブリ試験的取り出しにて採取されたサンプルについて、4月25日にJAEA大洗原子力工学研究所へ輸送し、4月28日から非破壊分析を開始しました。

複数個ある燃料デブリサンプルの総重量は0.187gであり、一番大きいサンプルで約5mm×約4mm、試料を容器に収納した状態で測定した線量率は約0.3mSv/hでした。外観は不均一な形状をしており、全体的には、1回目採取のサンプルより色合いが明るく茶色に近い褐色で、表面の一部に黒色の領域や空孔が認められています。

γ線スペクトロメトリの結果、アメリカシウム-241が検出されており、燃料成分が含まれることがわかりました。引き続き、非破壊分析を継続し、取りまとめた後に詳細分析（固体分析・溶液分析）を実施予定です。



燃料デブリサンプルの外観・拡大写真
（真上から撮影）



固体廃棄物貯蔵庫第10棟の竣工及び10-C棟の運用開始について

廃炉作業で発生した瓦礫類が収納されたコンテナを屋内保管する施設として、2023年3月から、A・B・Cの3棟からなる固体廃棄物貯蔵庫第10棟の設置を順次進め、A棟は昨年8月、B棟は昨年10月から運用を開始しています。

C棟は、2023年10月から設置工事を開始していましたが、2025年4月25日付で使用前検査終了証を受領し、運用を開始しました。これにより固体廃棄物貯蔵庫第10棟が全て完成しました。

今後、コンテナを定置するためのベースフレームの設置作業等を行ったうえでコンテナを屋内保管していく予定です。



10-C棟の外観（2025年2月17日）



10-C棟の内部（2025年4月7日）



固体廃棄物貯蔵庫 第10棟の配置
（左からA・B・C棟）

主な取組の配置図

ALPS処理水海洋放出の状況について

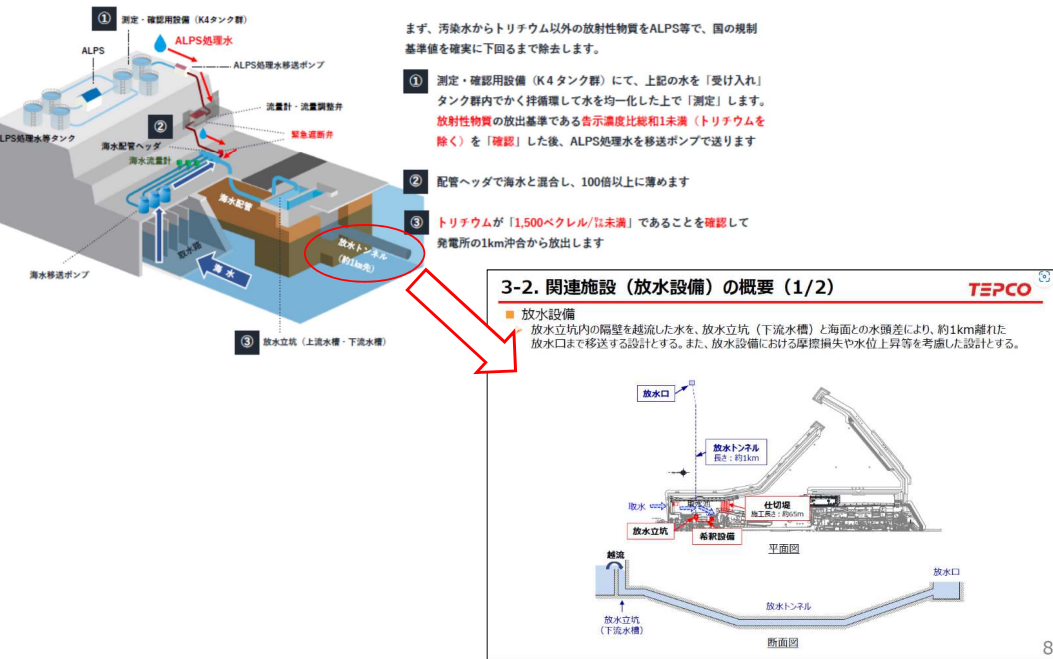


燃料デブリサンプル（2回目採取）の非破壊分析結果（速報）について

提供：日本スペースイメーシング（株）2024.1.14撮影
Product(C)[2024] Maxar Technologies.

【別紙】ALPS処理水の海洋放出の状況について

ALPS処理水の海洋放出の流れ



ALPS処理水海洋放出の状況について

2025年5月29日

東京電力ホールディングス株式会社

ALPS処理水海洋放出の状況について

2023年8月24日に海洋放出を開始して以降、国、福島県、東京電力等が実施している海域モニタリングにより、放出が安全であることを確認。
放出中及び放出後に設備点検を実施し、異常が無いことを確認。

2023年度

累計処理水放出量	累計放出トリチウム総量
31,145m ³	約4.5兆ベクレル (計4回放出 ※)

2024年度

累計処理水放出量	累計放出トリチウム総量
54,999m ³	約12.7兆ベクレル (計7回放出 ※)

2025年度

管理番号	放出タンク群	トリチウム濃度	放出日	放出量	トリチウム総量
25-1-12	A群	37万ベクレル/ℓ	2024/4/10	7.853m ³	約2.9兆ベクレル

(↑5/27説明資料より)

※福島第一原子力発電所におけるトリチウムの年間放出管理目標値：2.2兆ベクレル(事故前と同じ)

【参考】2025年度ALPS処理水放出計画(1/2)

- 2025年3月時点における2025年度の放出計画は以下の通り、年間放出回数7回、1回当たりの放出水量約7,800m³、年間放出水量約54,600m³、年間放出トリチウム量約15兆ベクレルを計画。

管理番号	移送タンク	移送量	二次処理	放出開始時期
25-1-12	G4南エリアB群 K3エリアA/B群	約8,080m ³ 約910m ³	無 表示濃度比較値：0.45~0.55 ^{※6} 199%濃度：22万~37万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約2.8兆 ^{※4} /ℓ	4月
25-2-13	K3エリアA/B群 ^{※5} J1エリアE群 (測定・確認用設備C群に移送)	約6,970m ³ 約820m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.45~0.62 ^{※6} 199%濃度：22万~30万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約1.9兆 ^{※4} /ℓ	6~7月
25-3-14	J1エリアE群 G5エリアE群 (測定・確認用設備A群に移送)	約7,300m ³ 約500m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.47~0.62 ^{※6} 199%濃度：20万~30万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約2.9兆 ^{※4} /ℓ	7~8月
25-4-15	G5エリアE/C/B群 (測定・確認用設備B群に移送)	約9,000m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.47~0.62 ^{※6} 199%濃度：20万~30万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約1.9兆 ^{※4} /ℓ	9月
25-5-16	G5エリアB/A群 (測定・確認用設備C群に移送)	約7,800m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.47~0.59 ^{※3} 199%濃度：22万~27万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約1.9兆 ^{※4} /ℓ	10~11月
25-6-17	G5エリアA/D群 G4北エリアA/B群 (測定・確認用設備A群に移送)	約4,000m ³ 約3,800m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.46~0.76 ^{※3} 199%濃度：26万~30万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約2.2兆 ^{※4} /ℓ	11~12月

点検停止(測定・確認用設備C群タンクの本格点検含む)

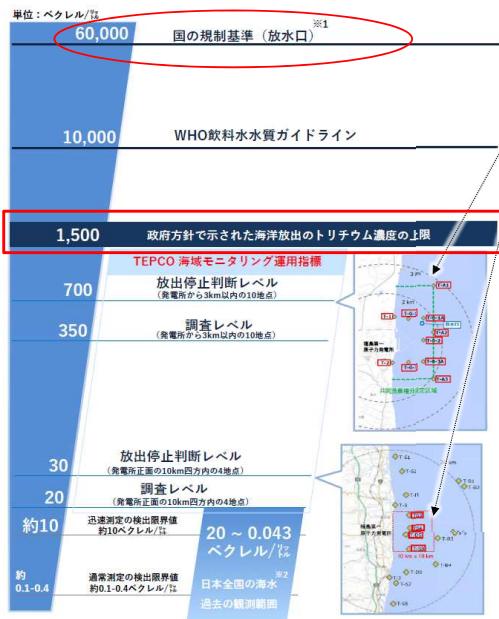
25-7-18	G4北エリアA/B群 H2エリアA群 (測定・確認用設備B群に移送)	約3,700m ³ 約4,100m ³	二次処理：無 表示濃度比較値：0.58~0.76 ^{※3} 199%濃度：26万~27万 ^{※4} /ℓ ^{※7} 199%総量：約2.0兆 ^{※4} /ℓ	3月
---------	--	--	---	----

※2025年度放出トリチウム総量：約15兆ベクレル

TEPCO

【参考】海水のトリチウム濃度の比較

【参考】海水のトリチウム濃度の比較



※1：原子力発電の排水口から出る海水、毎日、その濃度で20日間継続した場合、一年間で1ミリシーベルトの値に達する濃度から求められた基準
※2：出典「日本の環境放射線と放射能」(国研)2018/4-2022/3

- 当社の運用上の指標として、放出停止判断レベルおよび調査レベルを設定している。

	放出停止判断レベル	調査レベル
発電所から3km以内	700 Bq/L	350 Bq/L
発電所正面の10km四方内	30 Bq/L	20 Bq/L

<放出停止判断レベルを超過した場合>
海洋放出を速やかに停止
<調査レベルを超過した場合>
設備・運転状況の確認、採取頻度の強化を検討

- 指標(放出停止判断レベルおよび調査レベル)を超えた場合でも、法令基準60,000 Bq/LやWHO飲料水水質ガイドライン10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態であると考えている。

- 今後、放出する処理水のトリチウム濃度に応じて海水濃度も影響を受け、これまでより高い分析値が検出されることも想定される。それらの場合でも、調査レベルなどの指標を下回るものと考えている。

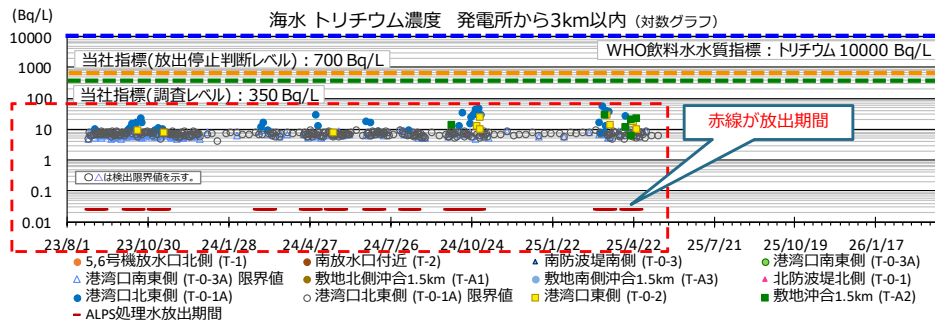
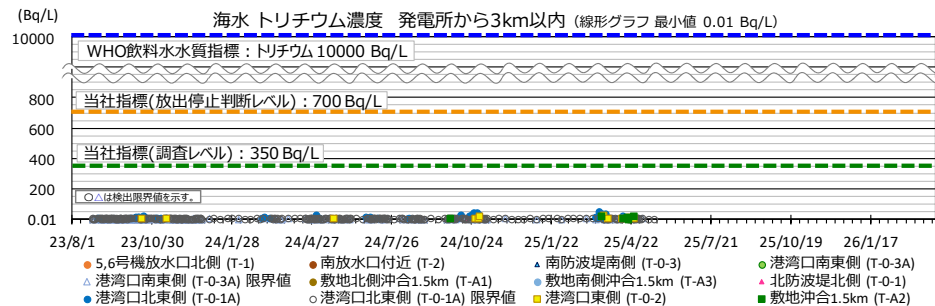
TEPCO

(参考) 海域モニタリングの実績(1/2)

迅速モニタリング

TEPCO

3km圏内



ご質問への回答

<星野 俊彦委員>

地下式フィルターベントについての経過について質問します。

1. 地下式フィルターベントを「特重」に取り込んで設置する事を決めたのは何時ですか。
2. 地下式フィルターベント設備は「特重」内に設置するのでしょうか。
3. 平成 26(2014)年 12 月 15 日に「特重」の設置変更許可申請をするにあたり、新潟県・柏崎市・刈羽村の事前了解を得ていますか。
4. 現在、7 号機の「特重」が経過措置完了日に完成出来ない事態について、新潟県・柏崎市・刈羽村の事前了解が必要でないですか。

(回答案)

1. 2014 年 12 月 15 日に原子力規制委員会へ申請した特重施設の「設置変更許可申請」において、当時、本体施設としていた地下式フィルタベントを、特重施設の格納容器破損防止対策設備としても共用することとしました。

【参 考】

2013 年 9 月 27 日	地上式フィルタベントと地下式フィルタベント（当時は「第二フィルタベント」と表記）を 6/7 号機本体施設の格納容器破損防止対策設備として、原子力規制委員会へ設置変更許可申請
2013 年 12 月 24 日	既に事前了解願いを提出した地上式フィルタベントに加え、地下式フィルタベントを追加した「柏崎刈羽原子力発電所 6、7 号炉フィルタベント設備の計画概要」の改訂版を、新潟県に提出
2014 年 12 月 15 日	地下式フィルタベントを特重施設の格納容器破損防止対策設備としても共有することを原子力規制委員会へ設置変更許可申請
2017 年 6 月 16 日	本体施設の格納容器破損防止対策設備を「地上式フィルタベント+地下式フィルタベント」から「代替循環冷却設備+地上式フィルタベント」に変更する設置変更許可申請の補正を提出
2017 年 12 月 27 日	設置変更許可を取得。これにより、地下式フィルタベントは、本体施設の格納容器破損防止対策設備としての位置付けが無くなり、特重施設の格納容器破損防止対策設備としての位置付けのみとなる

2. 1. に記載のとおり、地下式フィルタベント設備は特重施設として設置することとしております。なお、特重施設はテロ対策設備であることから、位置等の詳細については回答を差し控えさせていただきます。

3. フィルタベントの設置は、「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の安全確保に関する協定書（以下、安全協定）」の事前了解の対象となります。

このため、2013年9月の6／7号機本体施設の「設置変更許可申請」前にフィルタベント設備の供用に係る事前了解願いを新潟県・柏崎市・刈羽村へ提出しております。

なお、安全協定における事前了解の対象施設は、原子炉等規制法に基づくものとしており、特重施設や本体施設の区別はないことから、地下式フィルタベントが原子炉本体の付属設備から特重施設の付属設備に変更しても、改めて事前了解願いを提出する必要はないと認識しています。

4. 特重施設の設置時期は事前了解の対象ではないと認識しています。

以上